

浜松西ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023～2024年度
国際ロータリー会長
ゴードンR.マッキナリー
第2620地区 ガバナー
中村 皇 積

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中央区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 青木元男 幹事 清原浩介
クラブ報委員会 木下英也 瀧本健司 竹山定志
鈴木正史 須藤京子

第2183回 Vol.47 - No.33 2024/6/14(金) 12:30～13:30 (晴)

司会SAA 山本英明君
点鐘 会長 青木元男君
ロータリーソング 「手に手つないで」
ソングリーダー 中村美香保君
ゲスト 井川まゆみ様(新所原フラワーエンジェル)



出席報告 北野一正君

会員数	総出席	当日出席率
50名	41名	89.58%

(免除者 15名) (事前MU 2名)

会長挨拶 青木元男会長

皆様こんにちは、本日は同伴例会でございます。1977年6月に浜松西ロータリークラブが創立されまして47年が経過致しました。本日も多くの皆様に出席していただきまして誠にありがとうございます。創立時からのチャーターメンバーとして在籍されているメンバーは瀧本典彦さん袴田晃弘さんの2名でございます。本日も出席をいただきまして誠にありがとうございます。50周年が視野に入っております。今後とも健康でご指導をよろしくお願いいたします。私事でございますが、この会場での私の挨拶も来週が最後となります。浅学でございますが、毎回毎回日常での拙い話で何とかごまかすことが出来たと思っております。本日の同伴例会での挨拶に悩みまして、もうネタがありませんので、ある小説から感じたこととお話しさせていただきます。“恩送り(泥濘ぬかるみの十手)”麻宮好(あさみやこう)という女性作家の本でございます。時代背景は江戸時代1800年頃のお話です。下町深川辺りを舞台に市井の人々の生活を織り交ぜながら物語が進んでまいります。火事が江戸の華と言われた時代背景で主人公は当時の警察官である十手持ちであります。火付け人(放火犯)を探し当てるといふストーリーが展開してまいります。その文章の中に、いくつかの心に響く言葉がありましたのでご紹介させていただきます。先ず表題となりました「恩送り」でございますが、登場人物の会話に「恩送りってなんだい？」という問いかけがあります。その問いかけに「恩送りっていうのは人から受けた恩を、その人に返すのではなく別の人に送ることだよ」と答えます。そして「どうして恩をくれた人に返さないで他の人に送るんだい？」と問いか



けると「そうすればみんなが幸せになれるからさ。恩がぐるぐる廻るんだ」さらに「もらった恩を返したくても返せねえこともある。その時は別の人でいいんだ」と続きます。恩を返したくても返せない相手、それはすでにこの世で再会の叶わぬ相手を表しております。さらに何人もの捨て子が出てまいります。その捨て子を育てた母親は「おまえは私たち夫婦にとって恩そのものなのだ。だって欲しくて欲しくてたまらない赤ん坊を授けてもらえたんだからね。そして育てさせてもらった。これを恩と言わずして何といえればいいんだ。」そして父親は「もらった恩はもらいっぱなしでは駄目なんだ。大事に大事に慈しまなきゃならないんだ。そうすればその恩は大きくなってまだ誰かを幸せにするそれが“恩送り”ってことじゃないのか」と言葉を返します。「恩送り」こそ今私どもが活動しているロータリーにおける奉仕活動であると確信しております。さらにお寺のお坊さんの話しに、自分の持っているものへの愛着について「本来は愛着とは煩惱の一つであり、仏教の教えでは、心から切り離せねばならないものとされている。がしかしその愛着は見方を変えれば人が生きていく上では、なくてはならないものであり手放したくないと思う心のことである」と論じます。改めまして今後のロータリー活動におきまして、愛着をもって進んでまいりたいと思います。へたな読書感想文を長々と喋りました。お口直しではありませんが、作家の吉本ばななさんが家族につきまして、「幸せな時間」という随想の中で、こんなことを書いております。家族も孫の小さい時にはある程度頻りに集まるのですが、孫も大きくなりますとあまり集まらなくなります。そうした折り、たまに集まった日常について吉本ばななさんは、こう書いております。「何も気を使わなくてもいい。黙っていても喋っていてもかまわない“ちょっとトイレに行きます”なんて言わなくてもいい。子どもたちも成人し家族全員が集まる機会もほとんどなくなった今、たまに集まって食事をするとそんな空気にふと戻ることがある。丹念に耕した土地はすぐには枯れない」と。もうすぐ梅雨に入ります。日本の四季であります梅雨が慈雨であると思えば梅雨もまた楽しみでございます。本日は職業奉仕委員会の活動“花のリレープロジェクト”で国土交通大臣賞を受賞致しました渡邊記余子委員長のお話、そして防災マップを入野中学校の生徒さん達と街歩きをして作ったり、篠原中学校の修学旅行に同行し東北大地震の被災地であります仙台での街歩きを経験しました社会奉仕委員会瀧本健司委員長のお話が聞けるということですので大変楽しみにしております。皆様のご健康とご健勝を祈念致しまして挨拶を終わります。ありがとうございます。

幹事報告 渭原浩介幹事

◎例会変更のお知らせ

○浜松東RC

- ・ 8月16日（金）法定休会
- ・ 8月30日（金）特別休会

○浜北伎倍RC

- ・ 7月2日（火）特別休会
- ・ 7月16日（火）祝日週休会
- ・ 7月23日（火）会場変更
- ・ 7月30日（火）会場変更

◎配布物

- ・ 週報 2182号 ・新会員候補者公開手続きについて
- ・ 臨時総会開催のご案内
- ・ 佐鳴湖クリーン作戦のお知らせ
- ・ 最終例会会費引き落としのご案内（該当者）

◎連絡事項

- ・ 来週は「期末事業報告反省会」です。各委員長の皆様、発表のご準備をお願い致します。



◎渡邊記余子 職業奉仕委員長

天浜線～人と時代をつなぐ～花のリレープロジェクト
職業奉仕委員会&新所原フラワーエンジェル

45周年の記念にと新所原に花の植栽をするにあたり、日々の水やりをどうしようかと思った時天竜浜名湖鉄道の伊藤さんから新所原の自治会長を訪ねてみたらと紹介をいただきました。それが、私と井川さんの出会いでした。

45周年を終えて3年目の夏を迎えようとしている新所原駅の花壇のご紹介です。今後は花の色も指定してもっと彩りよく植栽出来ることを目標にしていきたいと思います。

50周年の表紙にさせていただけるように頑張りたいです。



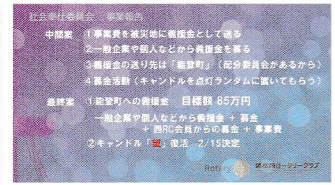
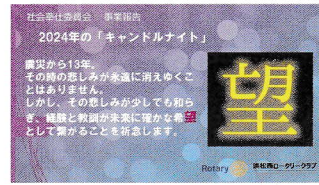
スマイルレポート 岩瀬綾太君

◎青木元男会長 渭原浩介幹事

本日は創立記念例会です。伴侶の皆様ようこそお越しくださいました。最後までお楽しみくださいませ。



◎瀧本健司 社会奉仕委員長



◎五十川 敏君

先週卓話いただいた小田木基行さんよりスマイルいただきました。ロータリアン同士は謝礼をいただかないそうです。

◎渡邊記余子君

今日は新所原フラワーエンジェルの井川さんをお招きしております。よろしくお願ひします。



委員会報告

◎中村俊幸 親栄会幹事

静岡第5グループ親睦コンペのご案内です。

日時 令和6年6月29日

浜名湖カントリークラブ

※お配りした組合せ時間の30分前までに集合をお願いします。



◎瀧本健司 次年度親睦委員

7月26日 暑気払いのご案内。〈内容〉ジャズ演奏
今年度は会員の皆さんにコロナ騒動の時には出来なかった素敵な夜を、素敵な音楽で、素敵な親睦が出来ればと考え企画しました。◎4人のアンサンブル

◎瀧本健司 次年度社会奉仕委員長

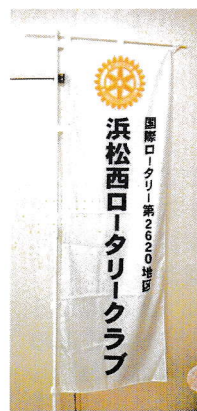
佐鳴湖クリーン作戦のお知らせ

日時 2024年8月4日（日）

※雨天の場合中止

AM 8:20集合 AM 8:30から1時間

場所 佐鳴湖南岸駐車場



社会奉仕委員会 事業報告

<義援金>

一般企業や個人などから義援金 + 募金 + 西RC会員からの募金	1,425,462円
西RC事業費	74,538円
合計	150万円

社会奉仕委員会 事業報告

<義援金>

3月21日（木）
能登町役場にて
寄贈

本日のプログラム

担当 山本英明会場監督

発表者 瀧本健司 社会奉仕委員長

渡邊記余子 職業奉仕委員長

タイトル キャンドルナイト、
花の会活動報告「当クラブ
ステータス事業」の報告



◆本日の例会メニュー

富士山の湧水が育てた大々鱒紅富士の
グラブラックと帆立貝柱のミキユイ
地場野菜のサラダ添え
地場産とうもろこしの冷製スープ
遠州産まだかの浜松産パセリソース
みっぴり牛ランプ肉のロースト 赤ワインソース
園田製茶の紅茶とレモンのムース
原島町「月のパン屋さん」のパン
コーヒー又は紅茶